



肌で感じた県レベル(前期新人戦)

10月15日(土)16日(日)、県新人戦の前期日程が県内各会場で行われ、以下の部が出場してきました。銀河祭準備で忙しい中での練習でコンディション作りに苦勞していましたが、今持てる力を発揮して善戦してきました。各部代表の報告では、今大会での課題や来年の中総体に向けた決意も述べられていて、意識の高さを感じました。是非、長期や中期の目標設定を明確にし、確実に成長できる計画を部員全員で立て、日々の練習に取り組んでいってください。後期日程は、1ヶ月後の11月19日、20日で、男子バレーボール、バドミントン、男子卓球が出場します。

【県新人戦前期結果】※個人競技は入賞者のみ

- ハンドボール部 女子：1位 決勝 対矢巾中 23-7
優秀選手(中野紗希、阿部和奏、古沢心愛、今松優奈)
- 男子：1回戦敗退 対矢巾中 14-23
- ソフトテニス部 男子団体：2回戦敗退 対宮古西中 0-2
- 女子団体：2回戦敗退 対磐井中 1-2
- ソフトボール部 2回戦敗退 対矢沢中 0-13
- 陸上部 男子団体：4位(36点)
- 共通男子110mH 1位 金野恵拓 15秒84
- 共通男子四種競技 1位 西村真斗 2075点
- 共通男子四種競技 2位 西舘 慧 1972点
- 2年男子1500m 2位 高橋啓太 4分26秒44



完結編は前向きに

「わだち」7号で紹介したギル愛衣美さんの作品「ぼくらは今を生きる」の第2巻(完結編)が完成し、銀河祭の美術部展示でお披露目になりました。会場でお手にとり読まれた方もいらしたことと思います。主人公の2人が、それぞれに抱える問題に向き合い、周りの理解を得ながら成長していく様子が緻密に描かれていて、うまくまとめられていると感じました。また、多感な年頃の中学生が、共生的な視点でこのような作品をつくったことに価値があると感じました。校内展示だけにとどめるには惜しい作品ですので、もっとたくさんの人に見て頂ける場を考えたと思います。

緊急スクールサポートスタッフ配置

学校におけるコロナ対策を支援する人員として、佐藤由果さんが10月11日から本校で勤務を開始しています。主に校内の消毒活動を担いますが、先生方の事務支援にもご協力頂く予定です。任期は2学期いっぱい短期間ですが、安心な学校生活を支えて頂きたいと思っています。

